

第2回生駒市総合計画審議会（第一部会）

開催日時 平成28年7月26日（金） 13：30～

開催場所 生駒市役所 401・402会議室

出席者

（委員） 中川委員、森岡委員、永野委員

（事務局） 石畑市長公室次長、坂谷政策企画推進課長、

岡村政策企画推進課課長補佐、日高政策企画推進係長、高松政策企画推進係員

欠席者 中谷委員

議事内容

(1)各小分野の検証

(2)その他

【事務局】 開会宣告、配布資料確認
以下、発言要旨

No. 143 財政

【中川会長】 財政については、皆様の進捗度はAということで、委員3人一致している。

これについては、指標をごらんいただいたら分かると思うが、かなり改善の成果が出ている。何かご意見あるだろうか。

【森岡委員】 一定の成果が出ていると思うが、成果を達成した場合でも、次なる課題は出てくると思うのでそういったところも今後検証シートに記入していただければと思う。

【中川会長】 進捗度については、行政の進捗度がA、我々委員の進捗度もAということで確定させてよろしいだろうか。

（異議なし）

№． 1 4 4 職員・行政組織

【森岡委員】 職員の意識改革に取り組むということは、やはり形のないものなので、外部評価するうえでは、それがどう改革されたかというのは、いろんな数値で表すしかない。そして、それらの数値を集めた上で何かしらの工夫が必要なのである。

【中川会長】 ちょっと分かりにくければ、プラン、ドゥ、チェック、アクションの中で、職員研修のプランはよしとして、ドゥ、研修やった、それをどのようにチェックし、次なる政策に投影していくというアクションをとっているかと、その流れを説明したらいいと思う。

【森岡委員】 もう一つ聞きたいのだが、生駒市のプロジェクトチームというのは、何年も継続するものなのか。

【事務局】 事業実施に至れば、その後は所管の課に移管したりという形で、継続するものではない。プロジェクトは、基本、単年度で終わっていくが、実績として、件数をカウントするに当たってご紹介させていただいている。

【中川会長】 プロジェクトチームの定義等はあるのか。

【事務局】 プロジェクトチーム設置規程で定義している。

【中川会長】 それでは進捗度について、これについても全員がBとなっているがいかがだろうか。皆さんBでよろしいだろうか。

(異議なし)

№． 4 6 1 バリアフリー

【中川会長】 これについては質問が出ていて、道路整備の遅れの原因として災害等緊急性の高い工事が発生した為とあるが、ご意見等いかがだろうか。

【森岡委員】 災害等の原因ももちろんあるとは思う。また道路事業に関しては、やはり非常に難しい契約上の問題、個人の権利関係等があるので、計画どおりに進まないということが、当然、前提としてある。また、かかる金額も大きいので担当課だけで解決できない問題というのはあると思う。

【中川会長】 これについては、指標も目指す値よりは低いけれども、以前から右肩上がりでは上がっていることは事実である。進捗度に関しては、全員がCということだが、Cでよろしいだろうか。

(異議なし)

№. 471 災害対策

【中川会長】 耐震住宅件数も避難施設の耐震化率も、目指す値よりも少ないといっても極端に低いわけではなく、ものによっては超えている。なので、かなりこれは頑張っていると思う。進捗度についても、3人ともBとなっているが、Bでよろしいだろうか。

(異議なし)

№. 472 自主防災

【中川会長】 この項目に関しては、家庭内家具の転倒防止等の実施率については平成27年度91.7となっている。

【事務局】 今まで、たけまるモニターというもので、アンケートに答えていただく方に事前にモニター登録をしていただいて、携帯等でアンケートを行っていたが、現在はホームページ上でアンケートを行っている。今回については周知期間が短く、有効回答数が想定していたより少なかった。今後、期間、方法の再検討を考えている。

【中川会長】 むしろここで評価すべきは、自主防災組織の組織率の高さだと思う。進捗度に関しては、これについては全員がBとなっているが、Bでよろしいだろうか。

(異議なし)

№. 473 消防

【森岡委員】 年間の災害発生件数が、わずかだが増加している。消防の指令体制は奈良市との共同運用が始まっているということもあって、その辺の分析も

しておく必要がある。共同運用に切り変わる前と切り変わった後でどうなんだというところを今後分析していただきたい。

【中川会長】 この分野の進捗度については、3人の意見が一致していない。お一人、永野委員、進捗度Bと判断してくださっているが、ご意見お願いしたい。

【永野委員】 行政の4年間の主な取組No. ①2は、十分取り組んでいるので評価が高い。また市内での救急講座にも十分取り組んでいらっしゃるのと、地域防災等にもご協力していただいている。火事が少し5件と多かったんです、これは、火事を起こすのは個人の問題であって、消防署の問題ではないので、救急車の件でも消防の件でもよくやっていただいていると思っていますので、進捗度Bと判断した。

【森岡委員】 プロジェクトチームの件も考えるといろいろと工夫され、進めた方も大変な苦勞があったのではと思う。

【中川会長】 私もそう思う。一つ質問だが、延焼の五棟というのは一件の火事での数になるのか。

【事務局】 一件の火事である。家同士が密接している地域での火事であった。

【中川会長】 進捗度に関しては行政の判断はCだが、永野委員の意見を踏まえて審議会の進捗度はBとしたい。皆さんよろしいだろうか。

(異議なし)

No. 481 交通安全

【中川会長】 活動指標としては、交通安全教室の参加人数が増加していることは評価できる。担当課として他に評価できるポイントがあるかどうかという点についてはいかがだろうか。

【事務局】 交通安全教室以外に、ゾーン30を今、積極的に生駒市は取り組んでいる。既に3カ所を設置し、4カ所目を今年度取り組んでいく予定になっている。

【森岡委員】 交通安全教室の参加人数は26年度から27年度で65件増えている。

【事務局】 行政の4年間の主な取組のNo. 1①1では、事故件数も減っていて、人身事故の件数も31%減少している。

【中川会長】 人身事故はかなり減っている。ただ、分野全体の進捗状況の進捗度の理由欄で、「さらなる交通事故件数を減少するため」とか、「高齢者、子どももの交通事故を防止することを基本とする」とあるが、これはまさに進捗上の課題なので進捗上の課題の欄に書くものである。進捗度の理由欄には、今後さらに上に行くにはこうしたらいいということを書いていただきたい。

【永野委員】 車以外にもバイク、自転車の事故に対する啓発についても強化していただきたい。

【事務局】 自転車については出前教室を行っている。

【中川会長】 自転車は処罰されないと思っている人も多いので強化していくべきである。進捗度については、担当課として頑張っておられることが理解できるので進捗度Bとしたいが、みなさんよろしいか。

(異議なし)

N o . 4 8 2 防犯・消費者保護

【永野委員】 先日、消費生活センターの講座を受けたが、私のやっている地域のサロンでとても好評だった。しかし意外と消費生活センターについて名前を知っていても実際に何をすところなのか、ということを知らない市民が多い。だから、まず、身近な自治会とかサロンとかでもう少し多くの講座を開いていただけるといいのかなと思った。

【中川会長】 確かにまだ少し努力する余地はある。防犯に関しては顕著な成績を上げているかなと思うが、消費者保護のことに關しては、もう少し努力が必要と思う。永野委員がおっしゃったように、消費生活センター、何かその存在認知があまりされていない気配がある。

【森岡委員】 もっと積極的にいろんなところに出前講座のようなものを行ってほしい。

【中川会長】 いろんな手法はあると思う。例えば老人会や婦人会、自治会の連合会の総会等があったら、10分でいいので、「ちょっと振り込め詐欺のお話をさせてもらえませんか？」と言ってでも啓発を行えばいいと思う。警察でももちろん対策は打っている。なのにまだまだ被害件数は多い。そう

いう意味では全体を見て、どんなところに弱さがあるのかを分析し、対策を打って行ってほしいと思う。それでは進捗度について、Cということで全員一致でよろしいだろうか。

(異議なし)

【中川会長】 それでは本日の審議会はこれにて終了させていただく。ありがとうございました。あと、事務局から連絡等お願いしたい。

【事務局】 庶務連絡、閉会宣告。

— 了 —